

岩美町水難救助訓練

7月14日(火)浦富海水浴場で水難救助訓練が岩美町救難所(所長榎本武利町長)の主催で開催され、鳥取海上保安署や鳥取警察署、岩美消防署、岩美町消防団、町内の各観光協会など各関係団体の約60人参加して行われました。

この訓練は近年マリンスポーツ等による海浜事故が多発していることから、海水浴シーズンを前に、水難事故ゼロを目指して、救助体制の確立を図ることを目的としています。

訓練は、「遊泳者5人が離岸流に流され、1人が自力で浜に戻って浦富観光協会に連絡」という想定で行われました。救助の捜索には、県警や第8管区海上保安本部美保航空基地のヘリコプターも出動し、負傷者のつり上げ救助等を行いました。



JR大岩駅周辺桜並木のボランティア清掃を実施

7月18日(土)、大岩地区自治会連合会、本庄地区自治会、大谷農事実行組合、岩本農事実行組合、NPO法人ウイング本庄(株)技工社、岩美町議会、役場職員が協力して、JR大岩駅周辺のボランティア清掃を実施しました。

大岩駅前、JRと国道9号線が並行して走っており岩美町の玄関口となっています。この日の作業で、美しい「JR大岩駅の桜並木」がすっきりとして風通しのよい景観となりました。

ボランティアに参加いただいた皆さん、猛暑の中、本当にありがとうございました。



平野地区にコミュニティ広場が完成しました

平野地区に地域コミュニティ広場が完成しました。地域の催しや祭事、日常生活での子ども達のふれあいの場が安全で活気あふれるものになるだけでなく、健康維持や体力向上のためのスポーツ広場、交流・親睦を深める憩いの場となることを期待しています。

なお、これは自治宝くじの普及広報事業として、財団法人自治総合センターが行う平成21年度コミュニティ助成事業により整備されたものです。



コミュニティ助成事業は(財)自治総合センターが宝くじ受託事業収入を財源として行っている事業です。地区住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図るための助成を行い、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目的としています。



馬場集落の蒲生川沿いに、アジサイを植栽しています



これは、中山間地域等直接支払制度や緑の募金事業を活用して、馬場集落が、植栽したもので、蒲生川沿いの左岸側に180株が植栽されており、近くの農家の方々が管理をされています。このたび、あじさいロードと名付け、看板を設置されました。

今年度は右岸側にも植栽を予定しているとのこと、来年以降もきれいな花を咲かせてくれること間違いなしです。これから、岩美町の名所のひとつとなります。

